

1. 件名：浜岡原子力発電所の新規制基準適合性審査に関する面談について
2. 日時：令和元年11月26日(火) 18時20分～18時40分
3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室
4. 出席者  
原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門  
内藤安全規制調整官、田上上席安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、南雲係員  
中部電力株式会社 原子力本部 常務執行役員 服部副本部長 他6名
5. 要旨
  - (1) 中部電力株式会社から、本年11月22日に開催された第802回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合における、プレート間地震の地震動評価に関する原子力規制委員会からの指摘事項について、審査会合資料を用いてその趣旨の確認があった。
  - (2) 原子力規制庁から、各指摘事項の内容に係る認識を相互で確認した後、会合でも指摘したとおり、プレート間地震と内陸地殻内地震の連動ケースにおいて、プレート間地震のSMGAと内陸地殻内地震のアスペリティの敷地の地震動への寄与度を確認すると、内陸地殻内地震のアスペリティの寄与度も大きいことが分かったため、念のため強震動予測レシピを基にアスペリティ面積比22%の震源モデルについて検討して説明するよう再度伝え、今後資料が準備でき次第説明するよう中部電力株式会社に求めた。
  - (3) 中部電力株式会社から、上記内容について了解した旨の回答があった。
6. 提出資料
  - ・ 第802回 原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合 ご指摘事項について